

科 目		必・選	担 当 教 員	学年・学科			単位数	授 業 形 態					
基礎製図 (Basic Drawing)		必	靄巻 峰夫	1学年 環境都市工学科			1	半期 週2時間					
授業概要	製図の基礎と規約、製図用機器と製図用紙、平面図形の書き方、投影図の書き方、建設製図の書き方などの基礎的知識について講義及び実習を行う。												
到達目標	①製図の規約を理解し、平面図形および投影図を作図することができる. (G-1) ②建設製図を理解し、作図することができる. (G-1)												
評価方法	課題提出物（提出時期、図面としての的確さ・見やすさ）（70％）及び小テスト（30％）で評価する。												
教科書等	土木製図：実教出版(株)、製図用器具一式												
内 容								学習・教育目標					
第 1 週	シラバスの説明、製図の基礎と規約							G-1					
第 2 週	製図の基礎と規約							G-1					
第 3 週	製図用機器と製図用紙							G-1					
第 4 週	線、文字							G-1					
第 5 週	〃							G-1					
第 6 週	〃							G-1					
第 7 週	平面図形の書き方							G-1					
第 8 週	投影図の書き方							G-1					
第 9 週	〃							G-1					
第10週	建設製図の書き方							G-1					
第11週	〃							G-1					
第12週	〃							G-1					
第13週	建設製図の作図							G-1					
第14週	〃							G-1					
第15週	〃							G-1					
第16週													
第17週													
第18週													
第19週													
第20週													
第21週													
第22週													
第23週													
第24週													
第25週													
第26週													
第27週													
第28週													
第29週													
第30週													
(特記事項)			JABEEとの関連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
			・教育目標				○						

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。）

基礎製図 1年

第1週～第6週

シラバスを参照して、授業のスケジュールおよびガイダンスを行う。また、製図の基礎的な知識として、製図用器具（製図用紙、鉛筆、製図板、定規、三角スケール、コンパスなど）の取り扱い及び用途について解説し、さらに図形を表現する線（実線、破線、一点鎖線、二点鎖線）と文字（数字、英字、かな、漢字）等の用途及び種類について学習し、それらの実習を行う。

第7週

平面図形の書き方について説明し、簡単な平面図形の作図を行う。

第8週～第9週

投影図の種類や書き方について説明し、簡単な投影図の作図を行う。

第10週～第12週

寸法の記入法や勾配など、建設製図の基礎知識について説明する。

第13週～第15週

簡単な建設製図について作図を行う。

それぞれの作図方法について説明後、簡単な小テストを実施し、理解を深める。